

第2回 嘉麻市総合計画策定審議会 会議録

1. 会議等の名称 第2回嘉麻市総合計画策定審議会
2. 開催日時 平成28年10月5日(水) 15:00~17:05
3. 開催場所 嘉麻市役所 碓井庁舎2階 会議室1
4. 公開又は非公開の別 公開
5. 出席者

(1) 出席委員

委員	出欠	委員	出欠	委員	出欠
安河内 隆	出	◎井原 徹	出	芳司 修治	出
野見山 千鶴	出	石田 浩一	出	松岡 康則	出
穂坂 拓也	出	溝口 悦子	欠	○永光 祐子	出
棚町 久敏	出	有江 真由美	出	端山 文代	出

◎印は会長、○印は副会長

(2) 執行機関

企画財政課 参事 西野由美 課長補佐 赤坂 晋 主任 松岡 彰

(3) 支援業務委託業者

ランドブレイン(株) 工藤博文 喜多峻平

6. 傍聴人数(会議を公開した場合) 0人
7. 議題及び審議の内容 以下のとおり

《質疑・意見》

1. 第2次嘉麻市総合計画基本構想の構成案について

(※事務局より、基本構想編の構成案、基本構想、キャッチフレーズ等の説明)

永光副会長 19ページの目標人口について、10年後の2026年は34,500人となっている。この人口目標の設定根拠はなにか。

事務局 昨年度策定した人口ビジョンをもとに算出している。人口ビジョンでは2060年までの目標人口を算出しており、人口トレンドとして2026年の数値設定を行っている。

井原会長 人口が減少する中での施策を挙げているように思うが、今後特に重点化していきたい施策はあるか。総合計画は今後10年間の計画なので、その柱となる施策は委員の方からぜひ意見を頂きたい。

永光副会長 A3資料(「基本構想編の構成案について」)の2ページの施策の体系案について、「2.子育て支援や高齢者等への支援の充実」と「4.住ん

でみたい、住み続けたいと思える快適な暮らしの場の形成」の施策課題がリンクしているように感じる。これは若い人向け、高齢者向けで分けられると思う。公共交通の利便性等も同様にどちらの施策課題にもかかってくるところかと思う。もう少し構成を検討出来ないか。

事務局 施策が重複するところはある。買い物弱者は福祉的施策の色が強い。買い物弱者支援を検討しているが、買い物不便を感じている年齢層は、高齢者である。福祉バスも走らせているが、今後は有料で走らせている市バスと福祉バスの統合も考えている。こうした観点からも施策ごとに整理することは難しい。施策体系や施策ごとに紐づく事業等については専門部会で意見をもらうことを考えている。

永光副会長 生活利便性の向上に関する施策の担当課はどこか。

事務局 買い物施策については産業振興課である。公共交通施策については庁舎・交通体系対策室となる。担当者ごとに部会を作って議論していく予定である。

井原会長 嘉麻市は地域が合併して様々な施策をしてきた。これからは、トータルに市全体で横を結び付けていくような計画が必要となる。市として住み続けたいことがメインとなるのか、企業誘致がメインとなるのか、今の体系では明確化していないように感じる。嘉麻市は地元の方が多く住んでいるまちだと思う。このため外からの移住者を狙うより、地元の方が帰ってきやすい環境をつくることを重点的に進めた方がよいのではないか。将来像にそういったことも反映して欲しい。

永光副会長 転入支援等があるが、嘉麻市で育った方がリターンして家族と一緒に住むということに対して支援策が打たれていない。就業支援やリターン者へのインセンティブを与えるような施策を考えた方がよいのではないか。地元に戻ってきても仕事がないということがネックとなっているように感じる。

事務局 若い人が地元に戻ってくる際には雇用が問題となる。また、3世帯等で住むことができるような住宅支援を行っていくことは重要となることは認識している。今後はアクティブシニアの方の受け入れ場所の確保や、足白地区の拠点で農家レストラン、宿泊施設を整備していく。今後はこうした拠点等の整備を行うことで雇用の場の確保を行いたい。

永光副会長 シルバー人材センターの所管はどこか。

事務局 シルバー人材センターは社団法人である。

芳司委員 3ページに第1次総合計画に位置付けられた様々な施策が記載されている。人口減少への対応を行っていくためには、魅力あるまちづく

りが必要である。今後人口減少に歯止めをかけるという流れが見えにくいような気がする。活力あるまちづくりのために人口減少の対応を行うということは必要である。数値目標を基本計画に盛り込むということであれば、基本構想段階で、人口の数値目標を示してもよいのではないのか。人口目標を位置づけるのが難しいようであれば、住民の満足度のようなものが分かりやすい指標を打ち出した方がよいのではないか。

事務局 第2次総合計画では、基本計画の中で人口目標を位置づけている。市民に分かりやすく実効性の高い計画とするために、基本計画の中で目標を定める必要があるものと考えている。人口減少への対応をしていくという大きな方針を市民に分かりやすく表現していくことを検討していきたい。

井原会長 人口減少への対応は喫緊で実施しなければならないことは分かった。この中でどういう施策を中心に進めたらよいのか、委員の方から意見を頂きたい。嘉麻に帰ってきて、家族と住むことができるまちを目指していくための施策を10年間進めていく。人口減少に歯止めをかけるということを体現する将来像等がほしい。本日の資料の中に総合計画の将来像があるが、あまり具体化されていないイメージである。

永光副会長 「総合計画の将来像（キャッチフレーズ）について【検討案】」で出された意見について、どれも説明しないと分からないものとなっている。誰が聞いても日本語として分かるキャッチフレーズが必要になると考える。日常が垣間見ることができるような温かみのあるキャッチフレーズが欲しい。

事務局 5つの基本方針を示しているが、今後専門部会の中で表現や施策の追加等がないか精査していく。本審議会でのご意見は、専門部会でも議論する予定である。

端山委員 キャッチフレーズは、「ひきつけるもの」「パッと見たらわかるもの」の2種類があるように思う。井原会長が言うようにパッと見てわかるようなキャッチフレーズがよいと考えている。自然が豊かで住みやすいイメージや、子どもたちに夢を与えることができるような取組みを連想させるようなキャッチコピーがよいのではないか。

棚町委員 基本方針に示されている個別の施策はもっともなことを書いていると感じる。個別施策をどのように実施していくかを検討していく必要がある。特に嘉麻市は農業関係をどのように進めていくかを具体的に検討いただきたい。今の自然をいかしていくような施策が欲しい。

- 永光副会長 嘉麻市で収穫される米は、筑豊地域の中でも品質が良いという話があったが、いかがか。
- 棚 町 委 員 品質はあまり良いとは言えない状況である。
- 永光副会長 一次産業に関わっている人はどの程度か。
- 棚 町 委 員 70歳以上の高齢者が大半という状況である。
- 永光副会長 例えば、今後取組みアイディアとして、嘉麻市のブランド米を立ち上げて見たらいかがか。
- 井 原 会 長 基本方針の中で、嘉麻市が農業に力をいれていくようなことを打ち出すことができないか。
- 穂 坂 委 員 どの自治体も人口減少は問題となっている。飯塚市でも人口減少に対応していく計画を策定していくことになると思うが、他市町村と同じ計画に見えてもおかしくない。子どもが生まれないとふるさと自体がなくなってしまうため、特色ある教育を強化していく必要がある。学校教育もあり、遊べる環境もあるまちであれば、定住人口も増えるのではないかと考える。
- 石 田 委 員 人口減少を食い止めるというよりは、人口を増加していく方向で考えて欲しい。通常業務で営業を回っていても空き家が多いということをよく聞く。嘉麻市の家賃が安く、面積も広ければ飯塚市在住の人にも住むのではないか。
- 井 原 会 長 空き家施策については、どの施策に入るのか。
- 事 務 局 「Ⅳ.自然と共生する住みよいまちづくり」の施策に入る。主に防犯目線での施策になる。
- 井 原 会 長 基本方針の項目は、空き家活用の目線の文言を入れてもよいのではないか。
- 芳 司 委 員 公共交通に関する施策は埋もれている感じがする。嘉麻市には下鴨生駅があり、中心市街地とバスでつなぐことも考えられる。また、中高一貫校を誘致しようという意見もあるが、どうなったのか。
- 永光副会長 公共交通の利便性の向上については、最近新たな協議会が立ち上がり、様々な議論を行っている。
- 有 江 委 員 私は子どもが3人いる。この子ども達が嘉麻市に住んで良かったなというまちづくりをして欲しい。嘉麻市は自然の資源が豊富である。しかし、こんなに面積が広いのに遊ぶ場所がないのがネックである。
- 井 原 会 長 基本方針の「Ⅲ.ふるさとに誇りをもてる教育・文化のまちづくり」に子どもたちが遊べる場を増やすような施策があってもよいのではないか。

- 松岡委員 前回計画の施策の成果指標をみると「1.生きる力を育む学校教育の充実」において、ALTの活用の話がある。今後、英語教育は重要になるので期待している。また、防犯灯にWifi設備を設置していくことも考えられる。防犯にもつながり、観光にもつながる。
- 井原会長 基本方針Ⅳは「自然と共生する住みよい安心なまちづくり」とするのがよいのではないか。
- 野見山委員 交通の便が悪いので市内の高校に行きにくい。飯塚市の高校に行ってしまう。今後は交通の利便性を高めるような施策に取り組んで欲しい。
- 井原会長 基本方針Ⅲは「教育・文化と遊びのまちづくり」としてもよいのではないか。
- 安河内委員 人口減少への対応ということで、嘉麻市として何が重要かを見据えた上で、個別施策を設定した方がよい。施策の柱がないように感じる。
- 井原会長 本日の意見を各担当部局と整合性を図って、基本構想を策定して欲しい。
- 事務局 本日のご意見をもとに専門部会等で協議していく。基本方針は今回示した5つの枠組みでよいか。
- 井原会長 問題ない。文言の表現の仕方は委員からの意見を反映して欲しい。

2. 第1次嘉麻市総合計画（後期基本計画）における施策目標指標の進捗状況等について

（※事務局より、施策目標指標の進捗状況等の説明）

- 井原会長 1ページの「2.地域の特性を活かした産業の振興」「②地域の特性を活かした産業」について、達成度がD評価であり、方向性がA評価になっているところが気になる。4ページの「3.子育て支援の推進」は事業全般の達成度がB評価であり、もう少し力を入れて欲しい。8ページの「1.生きる力を育む学校教育の充実」「③社会変化に対応した教育の推進」は、方向性がB評価となっているが、今後はもう少し力を入れてもよいのではないか。
- 永光副会長 9ページ、10ページについて、スポーツ関連の施策は詳細な数値が出ている。事業を実施した結果、成果が何か分かりにくい。数値がどの程度上がっているのか分からない。他市町村との比較もあつたら分かりやすい。数値化出来ない項目も無理に数値化する必要があるのではないか。また、達成状況がA評価なのに、B評価にしているのはなぜか。

事務局 現時点で目標達成しているため、現状維持ということ。数値化できるものは、市民の方に分かりやすい数値等を示すことができるよう、配慮していきたい。

3. その他（※前回の会議で質問のあった件）

事務局 国道322号線八丁峠トンネルは、現在工事中であり、朝倉市側の掘削を行っている。国道211号線の大隈地区については、歩道設置に向けた用地交渉が始まっていると聞いている。